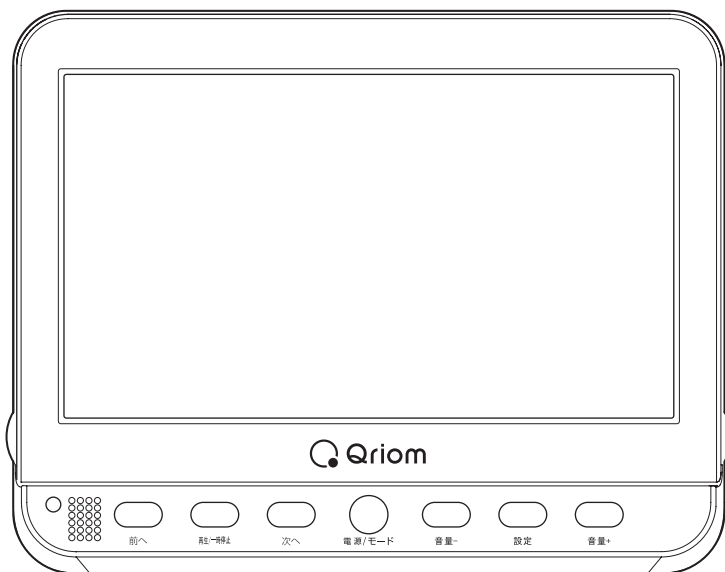




10.1
インチ

ヘッドレストモニター DVD プレーヤー CPD-M101(B)

取扱説明書(保証書付)



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail: support@qriom.com

ホームページ: <http://www.qriom.com>

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が
生じたとき、きっとお役に立ちます。

本製品のお取り扱い上のご注意

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品のお取り扱いに関しましてご案内いたします。

正しくお使いいただくために下記の点に注意してください。

●機器をご使用になる前に

まず機器にカーアダプターまたはACアダプターを接続してください。

●電源アダプター使用上のご注意

①カーアダプターの必要以上の抜き差しはお控えください。またカーアダプター / ACアダプターの端子やコードを必要以上に動かしたり触ったりすることはお控えください。

※ 故障や接触不良の原因となります。

②付属のカーアダプター（車載用シガー電源アダプター）はDC12V専用です。DC12V車のシガープラグへ直接接続してください。電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になる場合がございます。

●各種メディアを再生する前に

市販のDVD/CDディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生について、ご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐にわたるため、本書に記載された対応形式であっても再生できない場合があります。デジタル放送を録画したCPRMディスクはVRモードのみ対応可能です。

CPRMディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合があります。

※ ブルーレイディスクは再生できません。

●AV出力機能

本製品でDVDモードで再生しているものは外部へ出力することが可能です。

※ 接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかつたり故障の原因となることがあります。

目次

1 はじめに.....	4	9 CDリップング(録音)機能.....	27
安全上のご注意.....	4	10 外部機器の接続.....	28
ディスクの取り扱いについて.....	5	モニターとして使う.....	28
再生可能なディスク.....	6	テレビと接続する.....	28
再生可能なリージョン.....	6	イヤホンを使う.....	28
著作権について.....	6		
2 使用上のお願い.....	7	11 ご注意.....	29
レーザー製品について.....	8	12 主な仕様.....	30
結露(露付き)について.....	8	13 故障かな?と思ったら.....	31
お車での使用について.....	8		
DVD や CD および			
各種メディア再生について.....	9		
メモリーカードについて.....	9		
3 ご使用の前に.....	11		
主な特徴.....	11	ディスクが再生しない・	
セット内容.....	11	読み込まない場合.....	32
4 本体各部の名称・機能.....	12	車検時の対応について.....	33
本体各部の名称.....	12		
本体各部の機能.....	13		
5 リモコンの各部名称・機能.....	14		
リモコン各部の名称.....	14		
リモコン各部の機能.....	15		
6 本体・リモコンの準備			
および接続.....	17		
ヘッドレストに取り付ける.....	17		
電源を接続する.....	19		
リモコンの準備.....	20		
リモコンの操作範囲.....	21		
7 再生する.....	22		
ディスクを再生する.....	22		
メディアを再生する.....	23		
8 設定メニューの説明.....	24		
設定メニューについて.....	24		
基本設定.....	25		
スピーカー設定.....	25		
ドルビーデジタル設定.....	25		
ビデオ設定.....	25		
初期設定.....	26		

1 はじめに

安全上のご注意

※ご使用前に「安全上のご注意」と「取扱説明書の内容」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

● アイコンの表示例

⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。



左図の場合は「分解禁止」を表しています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が書かれています。



左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」を表しています。

⚠ 警告



本体内部に水や異物を入れない
火災や感電、故障の原因になります。



浴室、シャワー室など湿気がある場所では使用しない
火災や感電、故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
火災や感電、故障の原因になります。



自動車やオートバイの運転中は使用しない
運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。



煙が出たり、異常な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しない
火災や感電、故障の原因になります。



定格電圧以外の電圧では使用しない
機器の故障や、火災や感電の原因になります。



修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください
発火したり、異常動作をしてケガの原因になります。

⚠ 注意



ACアダプターを
抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源コードを持たずに、必ずACアダプター本体を持って引き抜く

感電やショートして発火するおそれがあります。



初めからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。



湿度の高い所やほこりのある場所で使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



自動車内など高温になる場所に放置しない

機器の変形や故障の原因になります。



再生中に本体の移動はしない

ディスクが高速回転していますので、中のディスクが傷付いたり破損するおそれがあります。

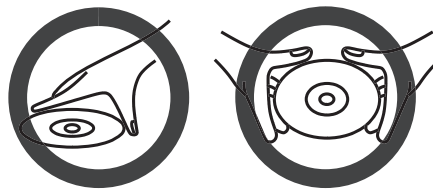
ディスクの取り扱いについて

※DVDおよびCDは、ほこりや汚れ、引っかき傷が付かないように、慎重に取り扱ってください。

※引っかき傷、汚れ、ほこりなどからDVDおよびCDを常に保護してください。使用していないときはDVDおよびCDを購入したときに入っていたケースに入れて保護することをお勧めします。

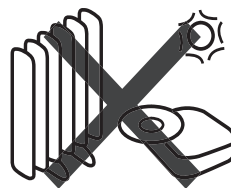
※DVDおよびCDにほこりや引っかき傷が付いたり歪んだりすると、音や映像が飛んだり途切れたり、または雑音が発生する原因となります。

※DVDおよびCDを持つときは、プレイ面に触れないように注意してください。



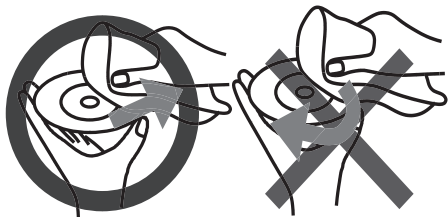
※DVDおよびCDはケースに入れて保管してください。ラベル面を上にしてラベル面を軽く押しつけてケースに収納してください。

※DVDおよびCDは暖房機器の近く、温度が高い場所または、ほこりの多い場所には置かないでください。



※ボールペンでラベル面に文字を書かないでください。DVDおよびCDにラベルまたはシールなどを貼らないでください。

※DVDおよびCDのプレイ面に付着したほこりや汚れや指紋は柔らかい布を使い、DVDおよびCDの内側から外側に向かって拭き取ってください。絶対に円を描くように拭かないでください。



※従来のレコードクリーナー、帯電防止剤、ベンゼン、シンナー、その他の溶剤は使用しないでください。

再生可能なディスク

●DVD-R/DL、DVD-RW (DVD-Video)

- ※ディスクの品質や記憶状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- ※ファイナライズされていない状態では、再生できません。

●DVD-R/DL、DVD-RW (DVD-VR CPRM)

- ※ディスクの品質や記憶状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- ※ファイナライズされていない状態では、再生できません。

●CD-R/RW (CD-DA/MP3/JPEG形式)

- ※ディスクの品質や記憶状態によっては、正常に再生できない場合があります。

再生可能なリージョン

※本機で再生できるリージョンコードは【2】と【ALL】です。

リージョンコードとは、DVDおよびDVD再生機器に割り当てられた地域番号です。DVDディスクとDVD再生機器のリージョンコードが一致しないと再生できません。



著作権について

※ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開することや、有償、無償を問わずレンタルすることは法律により禁止されています。

※ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピーガード機能により複製された映像は乱れます。

※DVDロゴは商標です。また、本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

2 使用上のお願い

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいこと。

本機の取り扱いについて

- 液晶画面を傷付けたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷が付かないようにしてください。
- 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。またゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。
- 長時間で使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
- 長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所について

- 本機を車内でお使いの場合は、必ず付属の車載ヘッドレスト取付け用アタッチメント(以下、アタッチメント)をお使いになり、座席のヘッドレストに取り付けてください。運転に支障をきたす場所や運転者の視界を妨げる場所、またエアバッグやシートベルトに支障をきたす場所には、取り付けしないでください。
- 本機をダッシュボードの上などに置くことは、お止めください。本機が落下して、事故やケガの原因となります。
- 室内でお使いの場合でも、付属のアタッチメントをお使いになり、本機をできるだけ垂直に近い状態にして、水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いているところなどでは使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く、閉めきった車内など温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
お車から離れる際には、アタッチメントから本機を外し、車内にそのまま放置しないでください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

- 本体操作パネル部分の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。変色したり塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面に付いた汚れなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うとレーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機には、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため人体に影響はありませんが、安全のため絶対に製品を分解しないでください。

結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴が付きます。これを結露(露付き)といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部など水滴が付くことがあります。

- 結露に注意する
 - ・ 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - ・ 暖房をつけ始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接当たる場所に置いたとき
 - ・ 夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高いところに移動したとき
 - ・ 湯気が立ちこめるなど、湿気が多い部屋に置いたとき
- 結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する
結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴が取れますので、しばらく放置してからご使用ください。

お車での使用について

- 移動中、運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。
- 誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。必ず付属の車載用シガーアダプターをご使用ください。付属のシガーアダプターはDC12V マイナスアース車専用です。電圧DC-DCコンバーター等の電圧変換器などは使用しないでください。
- 自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DCアダプターを差し込んだままエンジンを始動するとDVDプレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行ってください。また電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
- 自動車のエンジン始動時と停止後再始動された状態のときに本機が正常に動作しない場合がございます。エンジンの再始動時は電圧が不安定になりますので、自動車メーカー、ディーラー等にもご相談ください。
- 真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。本製品の保存温度内としてください。(30 ページ参照)
- 自動車のエンジンがスタートおよび再スタート(アイドリングSTOP機能)する際、シガーソケットの電圧降下が発生すると、プレーヤー本体が誤動作することがありますのでご注意ください。

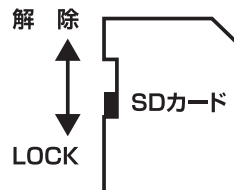
DVDやCDおよび各種メディア再生について

- ピックアップのヘッド(ディスクを読み取るレンズ)には触れないでください。
- ディスクトレイにはDVD、CD以外のものは挿入しないでください。またUSBポートとSDスロットに異物を挿入しないでください。
- ディスクをセットするときは1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。
- CD-R/RW、DVD-R/RWおよび各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやパソコン等の互換性やデータの保存形式によって再生できないものがあります。そのため全てのメディアの再生は保証できません。
- 本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。
- 本機で再生できるCPRMディスクは固定画質で記録したVRモードのみです。ディスク容量を有効に利用するために1つの動画内で画質を自動的に変更するAUTOなどの画質で記録したディスクは再生できません。

メモリーカードについて

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障または破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保証、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取り扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損(消滅)する事はありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかり差し込んでください。
- メモリーカードへの書き込み、読み出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなど無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光が当たるところやストーブやヒーターなどの熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。破損、故障の原因となります。

- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお買い求めください。
- 大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを [LOCK] に切り換えると、ロック状態（書き込み禁止状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。



3 ご使用の前に

接続と操作を行う前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、将来の参照用説明書として保存されることをお勧めいたします。本機は最先端の技術を駆使し小型・軽量化されており、簡単に操作できるように設計されています。ホテル、事務所、家庭等どこでも持ち運びに便利なポータブルDVDプレーヤーです。

※ 本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

主な特徴

- 10.1インチ TFT LCD (16:9)
- 再生メディア：DVD、DVD-R/DL、DVD-RW、CD、CD-R/RW、SD/USBメモリー(最大32GBまで)
- 再生フォーマット：DVD-Video、DVD-VR CPRM、CD-DA、MPEG4、MP3、JPEG
- 再生コントロール機能：再生、一時停止、早送り、早戻し、停止
- 画面のアスペクト比：16:9
- 2電源対応：(ACアダプター / カーアダプター)
- SDカードまたはUSBメモリーをサポート
- 音飛びや画像の乱れを防止するアンチショック機能を採用
- 音楽CDのデータをSDカードまたはUSBメモリーにリッピング(録音)可能

ご注意

本製品での動画再生は動画 Xvid + 音声 mp3 拡張子 avi のMPEG4 動画ファイルでの動作を確認しております。携帯電話やビデオカメラなどで撮影したSDカードを直接挿入しても再生できない場合があります。

詳しくは動画撮影する機器の取扱説明書をご確認ください。

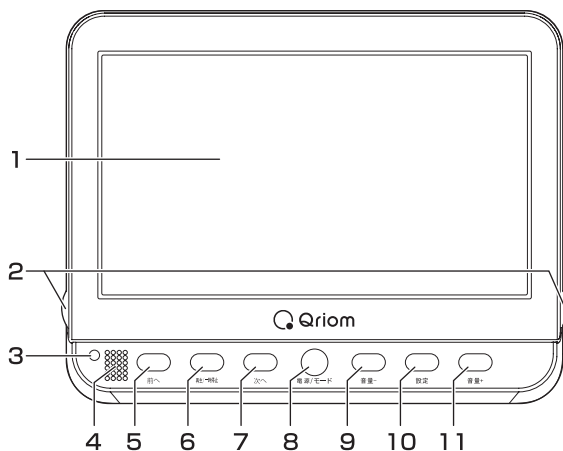
セット内容

以下がそろっているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告なく製品内容が変更されることもありますのであらかじめご了承ください。

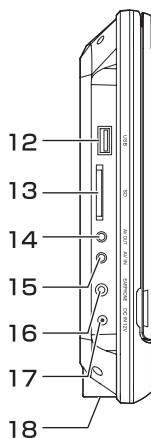
1. DVDプレーヤー本体×1
2. リモコン×1
3. 単4形乾電池(リモコン初期動作確認用)×2
4. 家庭用ACアダプター(AC100V-240V)×1
5. カーアダプター【車載用シガー電源アダプター】(DC12V専用)×1
6. AVケーブル×1
7. 車載ヘッドレスト取付け用アタッチメント×1
(スぺーサー×1組(2枚)取り付け済み)
8. アタッチメント用スぺーサー×5組(10枚)
9. ステント(アタッチメント用DVDプレーヤー本体取り付けホルダー)×1
10. 取扱説明書(保証書付き)×1

4 本体各部の名称・機能

本体各部の名称



1. LCDパネル
2. LCDパネルつまみ
3. 電源表示
4. リモコン受光部
5. スキップ前へボタン
6. 再生/一時停止ボタン
7. スキップ次へボタン
8. 電源/モードボタン
9. 音量-ボタン
10. 設定ボタン
11. 音量+ボタン
12. USBポート
13. SDカードスロット
14. AV出力端子
15. AV入力端子
16. イヤホン端子
17. DC電源入力端子
18. スピーカー



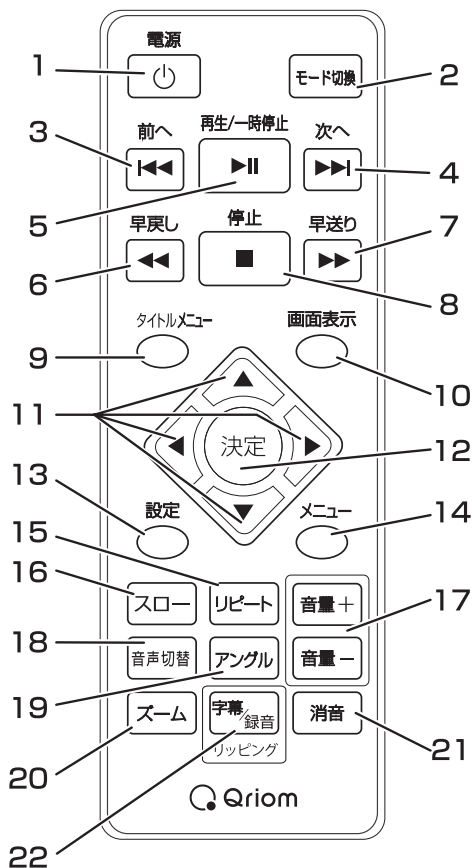
※ LCDパネルには保護フィルムが貼ってあります。
ご使用の際は保護フィルムをはがしてご使用ください。

本体各部の機能

No	名称	表示	機能
1	LCDパネル	—	10.1インチ液晶画面
2	LCDパネル つまみ	—	LCDパネルを開く時は、このつまみを持って開きます。
3	電源表示	—	電源が接続されると赤色に点灯します。電源が入ると緑色に点灯します。
4	リモコン受光部	—	リモコンからの信号を受けます。
5	スキップ前へ ボタン	前へ	前のチャプター、またはトラックにスキップします。メニューなどで上方向ボタンとして使用します。
6	再生/一時停止 ボタン	再生/一時停止	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り換えを行います。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
7	スキップ次へ ボタン	次へ	次のチャプター、またはトラックにスキップします。メニューなどで下方向ボタンとして使用します。
8	電源/モード ボタン	電源/モード	長く押すと、電源のオンとオフを切り換えます。短く押すと、DVD、AV IN、メディア (USBメモリー /SDカード) の切り換えを行います。
9	音量－ボタン	音量－	音量を下げます。メニューなどで左方向ボタンとして使用します。
10	設定ボタン	設定	設定メニュー画面を表示します。
11	音量＋ボタン	音量	音量を上げます。メニューなどで右方向ボタンとして使用します。
12	USBポート	USB	再生用のソースが入ったUSBメモリーを挿入します。(最大32GBまで)
13	SDカード スロット	SD	再生用のソースが入ったSDカードを挿入します。(最大32GBまで)
14	AV出力端子	AV OUT	付属のAVケーブルを接続し、本機を外部機器で再生します。(本機→外部機器)
15	AV入力端子	AV IN	付属のAVケーブルを接続し、外部機器を本機で再生します。(外部機器→本機)
16	イヤホン端子	EARPHONE	Φ3.5mmステレオミニジャック用のステレオイヤホンを接続できます。
17	DC電源入力端子	DC IN 12V	付属のACアダプターまたはカーアダプターのDCプラグを接続します。
18	スピーカー	—	スピーカー X 2

5 リモコンの各部名称・機能

リモコン各部の名称



1. 電源ボタン
2. モード切替ボタン
3. 前へ(スキップ)ボタン
4. 次へ(スキップ)ボタン
5. 再生/一時停止ボタン
6. 早戻しボタン
7. 早送りボタン
8. 停止ボタン
9. タイトルメニューボタン
10. 画面表示ボタン
11. カーソルボタン
12. 決定ボタン
13. 設定ボタン
14. メニューボタン
15. リピートボタン
16. スローボタン
17. 音量ボタン
18. 音声切替ボタン
19. アングルボタン
20. ズームボタン
21. 消音ボタン
22. 字幕/録音 リッピングボタン

リモコン各部の機能

※再生するメディアの種類またはディスクにより、機能しないボタンがあります。

No	名称	表示	機能
1	電源ボタン	電源	本体電源のON/OFFをします。
2	モード切換ボタン	モード切換	DVD、AV IN、USBメモリー、SDカードの切り換えを行います。
3	前へ(スキップ)ボタン	◀◀	前のチャプター、またはトラックにスキップします。
4	次へ(スキップ)ボタン	▶▶	次のチャプター、またはトラックにスキップします。
5	再生/一時停止ボタン	▶▶	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り換えを行います。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
6	早戻しボタン	◀◀	早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2X、4X、8X、16X、32Xです。
7	早送りボタン	▶▶	早送り再生ができます。利用可能なスピードは2X、4X、8X、16X、32Xです。
8	停止ボタン	■	再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。
9	タイトルメニューボタン	タイトルメニュー	DVD再生中のボタンを押すとタイトルメニューが表示されます。方向ボタンでご希望のメニューを選択して下さい。タイトルメニューはディスクにより内容が違います。
10	画面表示ボタン	画面表示	タイトル、チャプターの再生経過時間を表示することができます。「表示オフ」を選択するまで経過時間は表示し続けます。(タイトル再生時間→タイトル残り時間→チャプター再生時間→チャプター残り時間→表示オフ)
11	カーソルボタン	▲▼◀▶	方向ボタンでメニューのハイライトされている部分を移動させるのに使用します。
12	決定ボタン	決定	設定、選択した項目を実行します。
13	設定ボタン	設定	設定メニュー画面を表示します。
14	メニューボタン	メニュー	DVD内のメニュー画面が表示されます。

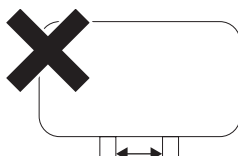
No	名称	表示	機能
15	リピートボタン	リピート	ボタンを押すことにより繰り返しモードになります。 DVD(チャプター → タイトル → オール) CD(トラック → オール) ※ 本体、リモコンの電源ボタンをオフにするとリピートは解除されます。
16	スローボタン	スロー	スローで順方向、逆方向に再生します。 順方向：1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 逆方向：1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → の速度に設定できます。
17	音量ボタン	音量	音量+ボタンを押すと音量が上がります。 音量-ボタンを押すと音量下がります。
18	音声切替ボタン	音声切替	複数の音声収録されているDVDディスクの再生中、音声を切り替える際に使用します。
19	アングルボタン	アングル	複数のアングルが収録されたDVDディスクの再生中、映像のアングルを切り換える際に使用します。
20	ズームボタン	ズーム	ボタンを押すごとにズームイン、ズームアウトすることができます。 表示倍率は2X、3X、4X、1/2、1/3、1/4です。 ズームインしたときに方向ボタンで画面の移動ができます。
21	消音ボタン	消音	一時的に音が消えます。元に戻すには、もう一度押すことにより元に戻ります。 ※ 電源ボタンをオフにすると消音設定は解除されます。
22	字幕/録音 リップングボタン	字幕/録音 リップング	複数の字幕が収録されているDVDディスクの再生中、字幕を切り換える際に使用します。 音楽CDをSDカードまたはUSBメモリーに録音するときを押します。

6 本体・リモコンの準備および接続

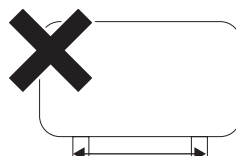
ヘッドレストに取り付ける

車載ヘッドレスト取付け用アタッチメント（以下、アタッチメント）をお車のヘッドレストに取り付けます。

※ヘッドレスト一体型の座席には、アタッチメントは取り付けられません。
※ヘッドレスト支柱の内側の幅が8cm以下または支柱の外側の幅が21cm以上の座席には、アタッチメントは取り付けられません。

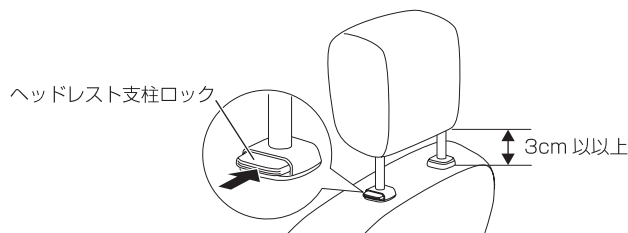


支柱の内側：8cm 以下

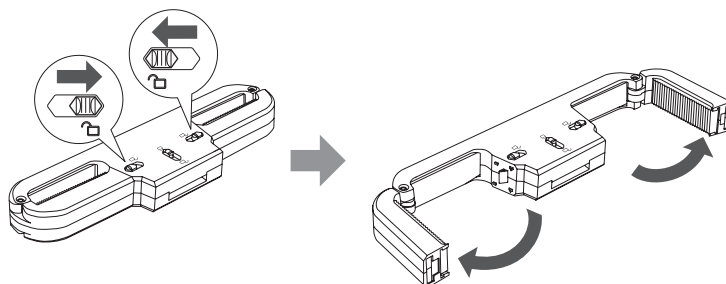


支柱の外側：21cm 以上

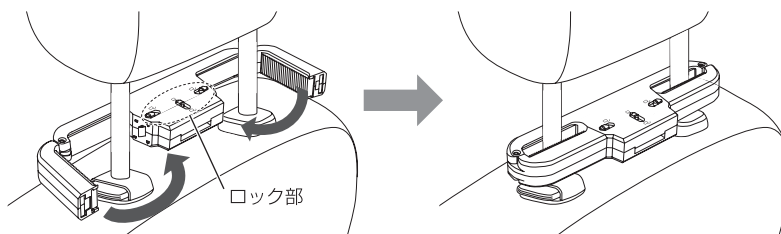
1. ヘッドレスト支柱のロックを外して、ヘッドレスト下側と座席上側の間を3cm以上空けます。



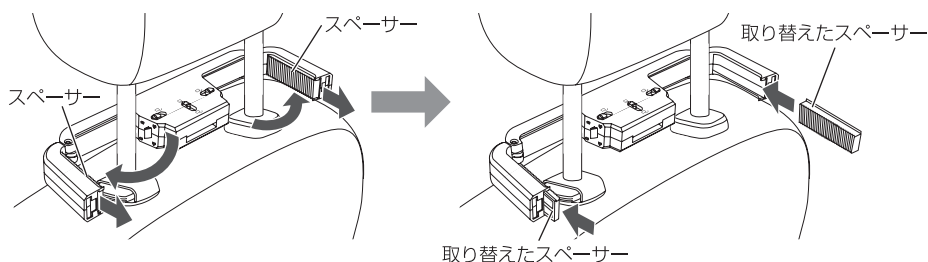
2. アタッチメントのロックを  マークに合わせて、ロックを外し、アタッチメントを開きます。




3. アタッチメントのロック部が見える面を上にして、ヘッドレストの支柱をはさみ、ヘッドレスト支柱とアタッチメントのすき間を確認します。



4. ヘッドレスト支柱とアタッチメントにすき間があれば、アタッチメントのロックを外して、アタッチメントを開き、しっかりと取り付けられる付属のスペーサーと取り替えます。

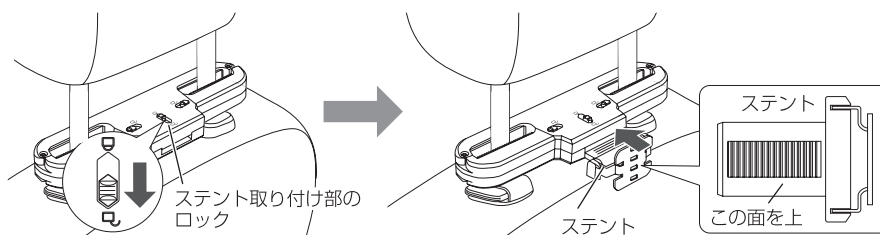


※必ず付属のスペーサーをお使いください。付属のスペーサー以外ですき間を詰めようとするとアタッチメントが脱落し、本機の故障やけがの原因となります。
 ※スペーサーは、同じの厚みのものをお使いください。スペーサーの厚みが違っているとアタッチメントが脱落し、本機の故障やけがの原因となります。

5. 手順3と4を繰り返し、アタッチメントがしっかり取り付けられていることを確認します。
 6. アタッチメントを閉め、アタッチメントにロックを掛けます。
 ・アタッチメントのロックは、アタッチメントを閉めると自動でロックが掛かります。
 7. アタッチメントのステント取り付け部のロックを  マークに合わせてロックを外し、ヘッドレストおよび座席に当たらない位置までステントを押し込みます。

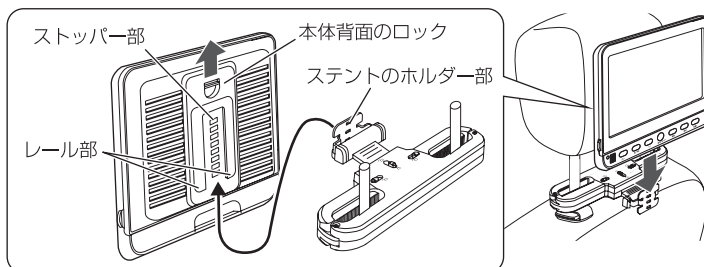


※ステントには上下があります。ステントのギザギザした面を上にしてください。



8. ステント取り付け部のロックを  マークに合わせて、ステントにロックを掛けます。

9. 本体背面のロックを押し上げたまま、本体のレールとステントのホルダー部を合わせて、本体を上から取り付けます。

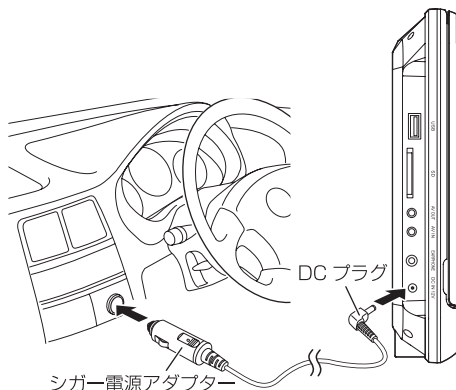


※ステントのホルダー部の4つ穴は、必ず4つすべて本体背面のストッパー部と合わせてください。ブラケットの穴の接合が3以下の場合、本機が脱落し、本機の故障やけがの原因となります。

電源を接続する

カーアダプターを使う

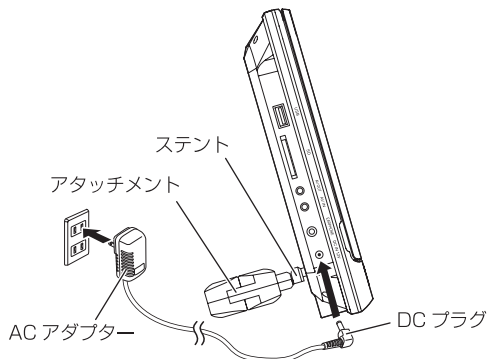
1. 本体側面のDC電源入力端子に付属カーアダプターのDCプラグを接続します。
2. 付属カーアダプターのシガー電源アダプターを車のシガーソケット (DC12V) に接続します。



- ※カーアダプターはDC12V車専用です。他の車には使用しないでください。
- ※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ず本体からカーアダプターを取り外し、本体およびカーアダプターを車に放置しないでください。
- ※DC-DCコンバーターなどの電圧変換器は使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ※お車での使用について、カーアダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、機器に大きな電流が流れて破損したり、車側のヒューズが破損する事があります。
- ※エンジン始動時は必ず、カーアダプターを抜いてください。

ACアダプターを使う

1. 本体背面に車載ヘッドレスト取付け用アタッチメント(ステント取り付け済み)を取り付けます。
 - ステントのアタッチメントへの取り付け方法は、「ヘッドレストに取り付ける」の手順7と手順8(18ページ)をご覧ください。
2. 本体側面のDC電源入力端子に付属ACアダプターのDCプラグを接続します。
3. 付属ACアダプターをAC100Vのコンセントに接続します。

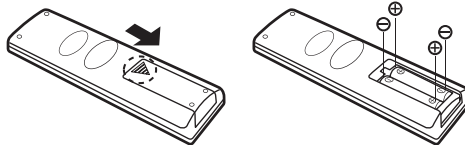


- ※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずコンセントからACアダプターを取り外してください。
- ※お手入れや点検の時には、本体からACアダプターを取り外してください。
- ※室内でお使いの場合でも、付属のアタッチメントをお使いになり、本機をできるだけ垂直に近い状態にして、水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いているところでは使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。

リモコンの準備

リモコンを使用する前に、リモコンに電池を入れます。

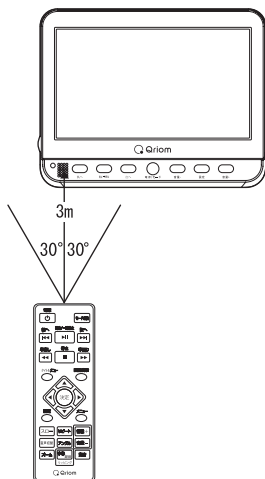
1. リモコン背面の電池カバーを開けます。
2. 電池の極性(+、-)を確かめて、単4形乾電池2本を挿入します。
3. 電池カバーを元に戻してください。



※付属の単4形乾電池は、初期動作確認用です。
お早めに新しい電池と交換してください。

リモコンの操作範囲

リモコンを使用する際は、プレーヤー本体前面の受光部から左右に各30度以内の角度で操作するようにしてください(特に本体から3m以上離れる場合)。リモコンの発信部とプレーヤー本体前面の受光部の間に信号を遮るものがないよう注意してください。



※充電式の電池はお使いにならないでください。リモコンの故障や感電の原因となることがあります。

※リモコンに衝撃を与えたり、水をかけたり、湿度の高い場所に放置しないでください。

リモコン操作のご注意

リモコンは、赤外線を使っております。以下についてご注意のうえ、お使いください。

- プレーヤー本体に直射日光や強い光を当てないでください。直射日光や強い光が当たるとリモコンが正しく動作しないことがあります。
- リモコンとプレーヤー本体の間に遮蔽物を置かないでください。リモコンからの信号が受信できず、プレーヤー本体が正しく動作しないことがあります。

電池の交換

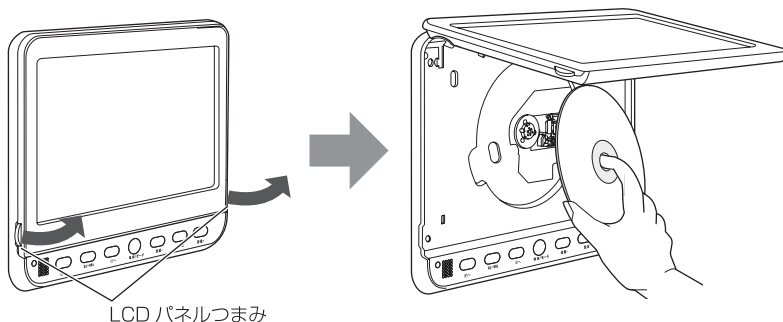
プレーヤー本体がリモコンに反応しない場合は、リモコンの電池が切れている可能性があります。新しい電池に交換してください。

7 再生する

ディスクを再生する

全ての準備が正しく完了しましたら、本機でディスクを再生してみましょう。

1. LCDパネルつまみを持ち、LCDパネルを開きます。
2. ディスクをトレイの上に置き、カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。



3. LCDパネルを閉めます。

4. 電源を入れます。

本体：【電源/モード】ボタンを長押しします。

リモコン：【電源】ボタンを押します。

- 電源が入ると電源表示が赤色から緑色に変わります。
- 電源が入ると「ロード中」が表示され自動的に再生が始まります。
- ディスクによっては自動で再生が始まらないことがあります。自動で再生が始まらない場合は、本体の【再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【再生/一時停止▶||】ボタンを押してください。
- ディスクによっては、メニューが表示されることがあります。本体の【音量+】/【音量-】/【前へ】/【次へ】ボタンまたはリモコンの【カーソル▲▼◀▶】ボタンで項目を選び、【決定】ボタンを押してください。



- ※ ディスクをトレイに置く際には、トレイ中央部のホルダーに無理な力を掛けないでください。破損するおそれがあります。
- ※ ディスクが回転中に電源を切ると、本体破損の原因となります。必ずディスクを停止してから、電源を切ってください。また、電源コードは、電源を切ってから取り外してください。
- ※ 本体またはリモコンを操作すると、画面に⊗マークが出る場合があります。本体またはディスク側で操作が無効であることを意味します。
- ※ ディスクにより再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されることがあります。表示が出た場合は、その指示に従って操作してください。

ラストメモリー機能

DVD-Videoまたは音楽CDのみ、電源をオフにした位置からの再生を行うラストメモリー機能が使えます。

- ラストメモリー機能は、設定メニューの「基本設定」でオン・オフできます。

メディアを再生する

市販のメディア（USBメモリーまたはSDカード）に入れた動画・静止画や音楽を再生させることができます。

※本機に DVD・CD ディスクが入っていないときは自動的にデバイスを認識します。

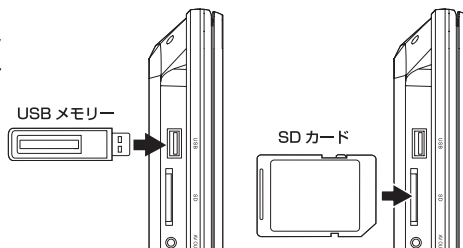


- ※ 本機で使えるUSBメモリーの容量は32GBまでです。
- ※ 本機で使えるSD (SDHC) カードの容量は32GBまでです。

1. 再生を停止します。

2. USBメモリーは、本機のUSBポートに接続します。SDカードは、本機のSDカードスロットに接続します。

- USBメモリーとSDカードの両方を接続することができます。



3. モード切り換えメニューを表示します。

本体：【電源/モード】ボタンを短く押します。

リモコン：【モード切換】ボタンを押します。

4. モード切り換えメニューの「MEDIA」を選択します。

本体：【前へ】 / 【次へ】ボタンを押し、「MEDIA」を選択します。

リモコン：【カーソル▲▼】ボタンを押して、「MEDIA」を選択します。

5. モード切り換えメニューの「MEDIA」から再生するメディアを決定します。

本体：【再生/一時停止】ボタンを押します。

リモコン：【決定】ボタンを押します。

- メディア内のファイルまたはフォルダが表示されます。

- USBメモリーとSDカードの両方が接続されていると、[USB]と[SD]が表示されます。本体の【再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【決定】ボタンを押して、メディアの選択項目に移動し、本体の【前へ】 / 【次へ】ボタンまたはリモコンの【カーソル▲ ▼】ボタンで再生するメディアを選び、本体の【再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【決定】ボタンを押して、決定してください。

6. 再生するファイルを選択します。

本体：【前へ】 / 【次へ】ボタンを押して、ファイルを選択し、【再生/一時停止】ボタンを押します。

リモコン：【カーソル▲ ▼】ボタンを押して、ファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。

- 再生が開始されます。

- メディア内のフォルダを選択する場合も同じ手順でフォルダを選択することで、フォルダ内のファイルが表示されます。

8 設定メニューの説明

設定メニューについて

本機の設定メニューを使って、設定をお好みの状態に変更できます。

設定メニューの準備

本機をDVDモードに設定します。DVDまたはCD等のディスクを再生していたときは、この準備は必要ありません。

1. モード切り換えメニューを表示します。
本体：【電源/モード】ボタンを押します。
リモコン：【モード切換】ボタンを押します。
2. モード切り換えメニューの「DVD」を選択します。
本体：【前へ】/【次へ】ボタンを押します。
リモコン：【カーソル▲▼】ボタンを押します。
3. モード切り換えメニューの「DVD」を決定します。
本体：【再生/一時停止】ボタンを押します。
リモコン：【決定】ボタンを押します。
4. メニューの項目を決定します。
本体：【再生/一時停止】ボタンを押します。
リモコン：【決定】ボタンを押します。
•メニューの項目により、サブメニューがある場合があります。
5. 決定したメニューの項目からサブメニューの選択内容を選択します。
本体：【前へ】/【次へ】ボタンを押します。
リモコン：【カーソル▲▼】ボタンを押します。
6. 選択内容を決定します
本体：【再生/一時停止】ボタンを押します。
リモコン：【決定】ボタンを押します。
7. 前の設定項目に戻ります。
本体：【音量-】ボタンを押します。
リモコン：【カーソル◀】ボタンを押します。
8. 設定メニューを終了します。
本体：【設定】ボタンを押します。
リモコン：【設定】ボタンを押します。

設定メニューの操作方法

1. 設定メニュー画面を表示します。
本体：【設定】ボタンを押します。
リモコン：【設定】ボタンを押します。
•設定メニュー画面が表示されます。
2. 設定メニューのページを選択します。
本体：【音量+】/【音量-】ボタンを押して、ページを選択します。
リモコン：【カーソル◀▶】ボタンを押して、ページを選択します。
•ページは、一般設定・オーディオ設定・ビデオ設定・初期設定があります。
3. メニューの項目を選択します。
本体：【前へ】/【次へ】ボタンを押して、上下に移動し、メニューを選択します
リモコン：【カーソル▲▼】ボタンを押して、上下に移動し、メニューを選択します。

一般設定

◎ 画面サイズ・・・ノーマル/PS、ノーマル/LB、Wide 16:9の切り換え

※ディスクが入っているときは、画面サイズの変更はできません。画面サイズを変更する時は、ディスクを取り出してください。

DVDディスクの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、横縦比が4:3のテレビ画面に映し出すとすると、画面におさまらなくなります。4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- ・ノーマル/PS (パンスキャンサイズ) : 映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。
- ・ノーマル/LB (レターボックスサイズ) : 画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現します。

・Wide 16:9(16:9 ワイドサイズ) : ワイドテレビ(16:9)に接続した場合、フル画面で再生します。

※ディスクによっては画面サイズの変更ができない場合があります。

◎ アングルマーク・・・オン(入)、オフ(切)

複数のカメラアングルが収録されているマルチアングルつきDVDのアングル選択ができます。

※この機能はマルチアングルで作成されたDVDに対応します。

◎ 画面案内言語・・・英語(English)、日本語(Japanese)の切り換え

設定メニュー画面に表示される言語の設定をします。

◎ 字幕・・・オン(入)、オフ(切)

字幕が収録されているDVDの字幕のオン・オフができます。

※この機能は字幕が収録されたDVDに対応します。ディスクにより、設定できない場合があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

◎ スクリーンセーバー・・・オン(入)、オフ(切)

画面上の画像が静止したまま(例:ディスクを数分間一時停止や停止などした)のときに画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。

◎ ラストメモリー・・・オン(入)、オフ(切)

この機能をオンにしたとき、本機が再生中にLCDパネルを開いたり、またはディスクを停止した場合、最後に再生していた部分を記憶しておく機能です。再びディスクを再生するときに記憶された箇所から再生が始まります。他のディスクを読み込むとメモリーは消えます。

オーディオ設定

◎ ダウンミックス

ダウンミックスの方式をLt/Rtまたはステレオの設定ができます。

ビデオ設定

画質の設定を行います。

◎ 切れ味(シャープネス)・・・高、中位、低

◎ 明るさ・・・・・・・・・・-12 ~ +12

◎ コントラスト・・・・・・・・-12 ~ +12

◎ 色合い・・・・・・・・・・-9 ~ +9

◎ 彩度・・・・・・・・・・-9 ~ +9

初期設定

初期設定ページを開く場合、再生を停止してください。再生されていると、初期設定ページを選択できません。

◎ テレビタイプ・・・PAL、Multi、NTSCの選択設定

本機は、放送方式がNTSC方式とPAL方式と互換性があり、どのTV放送方式でも接続が可能です。NTSC方式のTVに接続した場合、再生ディスクがPAL方式であってもNTSC信号を出力します。(日本、韓国、台湾、米国、カナダなど)

PAL方式のTVに接続した場合、再生ディスクがNTSC方式であってもPAL信号を出力します。(中国、ヨーロッパ、中東など)

※ 間違った選択をした場合、画面が乱れたりしますので正しく選択してください。

※ 日本でのご使用の場合は、NTSCに設定されていることを確認してください。

◎ Audio (音声の言語)・・・英語 (English)、日本語 (Japanese) の切り換え

出力される音声の言語を設定できます。

※ この機能は複数の言語が収録されたDVDに対応します。ディスクにより、設定できない場合があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

◎ 字幕設定・・・英語 (English)、日本語 (Japanese)、オフ (切) の切り換え

字幕が収録されているDVDの字幕の言語の切り換えまたはオフを設定できます。

※ この機能は字幕が収録されたDVDに対応します。ディスクにより、設定できない場合があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

◎ ディスクメニュー設定・・・英語 (English)、日本語 (Japanese) の切り換え

ディスクメニューの言語を設定できます。

※ この機能はディスクメニューの言語が収録されたDVDに対応します。ディスクにより、設定できない場合があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

◎ デフォルト (初期設定に戻す)
工場出荷時の初期設定に戻します。

※ 詳細設定が不明になった場合、デフォルト (初期設定に戻す) を実行してください。

9 CDリッピング(録音)機能

本機では、音楽CDのデータをパソコンやMP3プレーヤーで読み込み可能なMP3形式にリッピング(変換)して、SDカードまたはUSBメモリーに保存することができます。

1. 音楽CDを本体にセットします。
2. 保存先のメディア(SDカードまたはUSBメモリー)を本体側面のSDカードスロットまたはUSBポートに接続します。
3. リモコンの【字幕/録音】ボタンを押します。
 - CDリッピング設定画面が表示されます。

CD RIP			
オプション		トラック	
スピード	正常	✓ track 01	04:10
Bitrate	128kbps	track 02	04:07
作成のID3	はい	track 03	03:21
デバイス	SD	track 04	04:03
概要		track 05	07:46
選択	トラック 1	track 06	05:29
選択	時間 04:10	track 07	05:00
スタート	終了	すべて選択	選択なし

4. CDリッピング設定画面で、リモコンの【カーソル◀▶▲▼】ボタンでカーソルを移動して項目を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押して設定値を変更します。
 - スピード：変換速度を正常または高速に設定します。
 - Bitrate：ビットレートを以下の値から設定できます。
 - 96kbps、112kbps、128kbps、192kbps、256kbps、320kbps、ビットレートの値が大きいと音質はよくなりますが、データの容量が大きくなります。
 - Create ID3：ID3タグを作成します。
 - Device：保存先のデバイスをUSB(USBメモリー)またはSD(SDカード)に設定します。本機に何も接続されていないと「デバイスなし」が表示されます。
5. リモコンの【カーソル▶】ボタンで[トラック]に移動し、【カーソル▲▼】ボタンでリッピング(録音)したいトラックを選び、【決定】ボタンを押します。
 - すべて選択：全てのトラックを選択します。
 - 選択なし：選択したトラックを解除します。

6. リッピング(録音)を開始するには、リモコンの【カーソル◀▶▲▼】ボタンで[スタート]を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - ※ 保存先のメディアが接続されていないと、[スタート]を選択することはできません。
 - CDリッピング画面が表示され録音が始まります。

リッピングの進行状況を表示します。

CD RIP		
リッピング	選択	トラック
トラック進行状況		track 01 10%
Total 進行状況		track 02 04:07
		track 03 03:21
		track 04 04:03
		track 05 07:46
		track 06 05:29
		track 07 05:00
概要		
Now ripping		
トラック 01/07		

リッピング中のトラックです。

- CDリッピングを途中で終了するには、【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - CDリッピングが終了すると、CDリッピング設定画面に戻ります。
7. リッピング(録音)を終了するには、リモコンの【カーソル◀▶▲▼】ボタンで【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - CDの再生画面に戻ります。



※ メディアの読み込み時に不具合が発生した場合は、一度電源を切り、再度電源を入れてお試しください。

- ※ リッピング(録音)されたトラックは、保存先メディア(SDカードまたはUSBメモリー)の「RIP_000」フォルダに保存されます。
- ※ 「RIP_000」フォルダは自動で作成されます。
- ※ 保存されるデータは、「TRACK001」・「TRACK002」・「TRACK003」・・・のファイルとして保存されます。

10 外部機器の接続

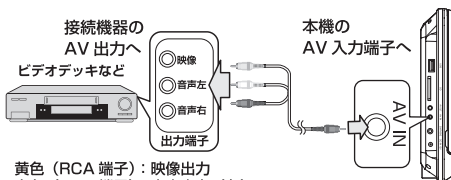


※ 本機と他の機器との接続または取り外しを行うときは、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。

モニターとして使う

他の機器と本機を接続して、本機を他の機器のモニターとして他の機器の映像等を再生できます。

1. 付属のAVケーブルを使って、本機のAV入力端子と接続する機器の映像・音声出力端子を接続します。



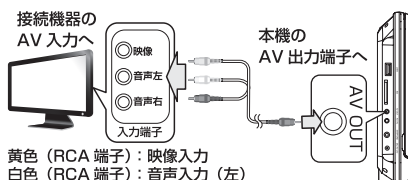
黄色 (RCA 端子) : 映像出力
白色 (RCA 端子) : 音声出力 (左)
赤色 (RCA 端子) : 音声出力 (右)

- 接続する機器の端子については、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。
2. 本体の【電源/モード】ボタンまたはリモコンの【モード切替】ボタンを押して、表示を【AV IN】にして、本体の【再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【決定】ボタンを押します。
 3. 接続した機器で再生を行います。

テレビと接続する

付属のAVケーブルを使って、テレビやモニターに接続して、本機からの映像・音声を出力できます。

1. 付属のAVケーブルを使って、本機のAV出力端子と接続する機器の映像・音声入力端子を接続します。



黄色 (RCA 端子) : 映像入力
白色 (RCA 端子) : 音声入力 (左)
赤色 (RCA 端子) : 音声入力 (右)

• 接続する機器の端子については、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。

2. 本機の再生を行います。

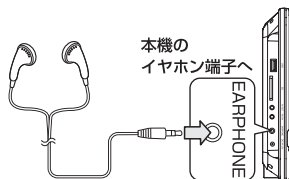
イヤホンを使う

市販のイヤホンを接続してお使いいただけます。



※ イヤホンは、ステレオタイプのミニプラグ (Φ 3.5mm) のイヤホンをご用意ください。

1. 本機の音量を最小にします。
2. イヤホンをイヤホン端子に接続します。



3. 本機の再生を行います。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

11 ご注意

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりません。予めご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期してありますが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ① 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ② 本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③ 本製品のために費やした時間、経費
- ④ 本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤ 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の損害

また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾無しに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを権利者の承諾無しに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社山善およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その他の確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

12 主な仕様

製品名	ヘッドレストモニター DVDプレーヤー
型番	CPD-M101(B)
パネルサイズ	10.1インチワイド
液晶解像度	1024×600ピクセル
視野角度	上下110度、左右140度
電源定格	AC100V 50/60Hz DC12V 1.5A (付属のACアダプターを使用してください。)
ACアダプター	AC100-240V 50/60Hz ※国内専用製品です。海外での使用はできません。
カーアダプター	DC12V 1.5A ※24V車不可
許容動作温度	5℃～35℃
映像信号方式	NTSC/PAL/自動
消費電力	12W(最大)
外形寸法	約260(W)×206(H)×38(D)mm (折りたたみ状態)
本体質量	約950g(車載ヘッドレスト取付け用アタッチメント含めず)
接続端子	USBポート×1、SDカードスロット×1、3.5mmイヤホンジャック×1、AV出力端子×1、AV入力端子×1、電源入力端子×1
スピーカー	2CHステレオ(2W×2)
再生可能メディア	DVD、DVD-R/DL、DVD-RW、CD、CD-R/RW、SDカード、USBメモリー
再生可能フォーマット	DVD-Video、DVD-VR CPMR、CD-DA、MPEG4、MP3、JPEG、 ※著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

13 故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない	ACアダプターまたはカーアダプターは正しく接続されていますか?	ACアダプターまたはカーアダプターの接続を確認してください。
再生できない/ 画面に表示されない	ディスクは入っていますか?	ディスクを入れてください。
	各機器は正しく接続されていますか?	各機器を正しく接続してください。
	ディスクに汚れ、傷はありませんか?	傷の無いディスクをお使いください。 ディスクが汚れているときは清掃してください。
	接続しているテレビの入力モードは正しいですか?	接続しているテレビの入力モードを正しく設定してください。
	パソコンやレコーダーで記録したディスクですか?	パソコンやレコーダーで記録した記録型ディスクは再生できない場合があります。
	結露をしていませんか? 本機が熱くなっていませんか?	本機を常温に置いて1時間待ってから、お使いください。 本機が熱を持っている場合は、約30分程度時間を置いてからご使用ください。
画像が乱れる	ディスクに汚れ、傷はありませんか?	傷の無いディスクをお使いください。 ディスクが汚れているときは清掃してください。
	本機がビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていませんか?	ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されているとコピーガードが動き画像が乱れます。
雑音が出たり、音声が乱れる	各機器は正しく接続されていますか?	各機器を正しく接続してください。
	近くに強い磁気を帯びたものはありますか?	磁気を帯びたものを本機から離してください。
画面の「ロード中」の表示が消えない、または「ディスクなし」と表示される	ディスクは本機に対応していますか?	本機に対応しているディスクか確認してください。
	パソコンやレコーダーで記録したディスクですか?	パソコンやレコーダーで記録した記録型ディスクは再生できない場合があります。
	ディスクに汚れ、傷はありませんか?	傷の無いディスクをお使いください。 ディスクが汚れているときは清掃してください。
音が出ない	本機や接続しているテレビの音量が最小または消音になっていませんか?	本機または接続しているテレビの音量を正しく調節してください。
	各機器は正しく接続されていますか?	各機器を正しく接続してください。
	通常以外の再生をしていますか?	一時停止、早戻し/早送り、スロー再生時は音声が出力されません。
画面が暗い	映像調整は正しく設定されていますか?	設定ボタンを押して、「映像設定」の「映像処理」での映像調節で明るさを設定してください。
画面が白黒になる	TVシステムは合っていますか?	設定ボタンを押して、「映像設定」の「TVシステム」が「NTSC」か「MULTI」(自動)に合わせてください。
リモコンが機能しない	リモコンに電池は入っていますか? また電池の向きは正しいですか?	電池を確認してください。
	電池は消耗していませんか?	新しい電池と交換してください。
	本機とリモコンの間に障害物はありませんか?	本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
	本機に強い光が当たっていませんか?	強い光が当たらない場所に移動してください。

ディスクが再生しない・読み込まない場合

●ディスクやSDカード/USBメモリーを再生しない、または読み込まない場合は、下記の項目をご確認ください。

データを読み込むまでに時間がかかる

DVD-R/Wディスク^{*}は、市販のディスクよりもレーザーの反射率が低い場合があります。反射率が低い場合、ディスクのデータを読み込むのに時間がかかります。さらにデータが読み込めない場合は、LCDパネルに「ディスクがありません」と表示され、ディスクの読み込みは止まり、回転も停止します。

^{*}ディスクはファイナライズしてから再生してください。

仕様に合っていないディスクを再生している

ディスクは本機で再生可能なメディアですか。

本機で再生可能なディスクをお使いください。

⇒「再生可能なディスク」(6 ページ) をご覧ください。

データを読み込まない

ディスクのフォーマットが本機で再生可能な仕様に合っている場合でも、データの作成方法やディスクとの相性によりデータを読み込まず再生出来ない場合があります。

SDカード/USBメモリーの映像が再生されない

SDカードまたはUSBメモリーを使って再生可能なファイル形式は、下記のとおりです。

映像：MPEG1/2、JPEG

音声：MP3、AVI

ディスクが汚れている

ディスクをクリーニングしてください。

⇒「ディスクの取り扱いについて」(5 ページ) をご覧ください。

ディスクのラベル面が下向きになっている

ディスクのラベル面を上向きにして、入れ直してください。

本機の内部が結露している

本機を常温に置いて1時間待ってから、お使いください。

⇒「結露(露付き)について」(8 ページ) をご覧ください。

車検時の対応について

- 本書は、自動車検査証と一緒に大切に保管してください。
- 車検の際、検査官より本製品が道路運送車両の保安基準を満たしていることの確認が求められます。その際にはこのページと次ページをご提示ください。

技術基準適合確認書

製品名称	ヘッドレストモニター DVD プレーヤー		
製品型番	CPD-M101(B)		
試験分類	車載式DVDプレーヤーの衝撃試験		
試験装置			
装置名	株式会社エステック	サブシステム衝撃試験装置	
データ収録装置	株式会社共和電業	衝突試験データ収集装置	(型式DIS-3000B)
加速度計	株式会社共和電業	高応答小型加速度センサ	(型式AS-500HA)
試験委託機関名称	一般財団法人 日本自動車研究所		
適用技術基準	道路運送車両の保安基準の細目を定める工事 別添28 インストルメントパネルの衝撃吸収の技術基準 ※本製品は、インストルメントパネル上に設置する製品ではないが、頭部に衝撃を受けた際の安全性を確認するために本技術基準を適用した。		
試験方法	サブシステム衝撃試験装置を使用して、頭部模型(直径165mmの半球状剛体模型、有効質量6.8kg)を衝突速度24±1km/hにて射出し、試験品に衝突させ頭部模型に発生する減速度を測定する		
判定基準	頭部模型に発生する減速度は3msec以上連続して784m/s ² を超えないこと		
総合判定	適		
試験成績書	委託試験成績書番号 2018-1-706		
確認書発行元 (試験委託者)	株式会社山善 〒550-8660 大阪府大阪市西区立売堀3-2-5		

問い合わせ先	キュリオムサポートセンター TEL : 0570-00-9106 E-mail : support@qriom.com ※ナビダイヤルは、一部の電話ではご利用になれない場合がございます。
受付時間	月～金 : 午前 10 時～午後 5 時 30 分 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)

(株)山善製 ヘッドレストモニター衝撃試験成績書

試験内容 車載式 DVD プレーヤーの衝撃吸収試験

試験日 平成 31 年 3 月 1 日 (金)

試験機関 (一財) 日本自動車研究所



1. 試験品

製品名称 ヘッドレストモニターDVD プレーヤー

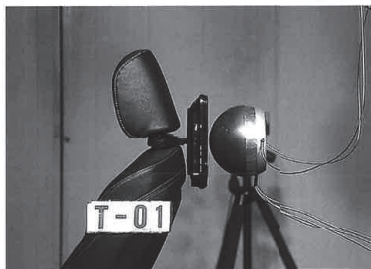
製品型番 CPD-M101(B)

2. 試験装置

装置名	(株) エス・テック	サブシステム衝撃試験装置
データ収録装置	(株) 共和電業	衝突試験用データ集録装置 (型式 DIS-3000B)
加速度計	(株) 共和電業	高応答小型加速度センサ (型式 AS-5J0HA)

3. 試験方法

サブシステム衝撃試験装置を使用して、頭部模型 (直径 165mm の半球状剛体模型, 有効質量 6.8kg) を衝突速度 $24 \pm 1 \text{ km/h}$ にて射出し、試験品に衝突させ頭部模型に発生する減速度を測定する。



4. 試験結果

	Test No.	温度【°C】	湿度【%】	速度【km/h】	784m/s ² を超えた 連続時間 【ms】
CPD-M101(B)	T-01	20.0	52	24.2	0.0
	T-02	20.3	51	24.2	0.0
	T-03	21.1	50	24.2	0.0
	T-04	21.3	49	24.2	0.0

5. 総合判定

頭部模型に発生する減速度は、3.0msec 以上連続して 784m/s² (80G) を超えないこと
判定 適 否